

ASEAN 人材育成奨学パートナーズ支援（AHEAD50） ASEAN 事務局 科学・技術課 職員 招へいの記録（短期招へい第 5 陣）

1. プログラム概要

【目的・概要】

ASEAN 事務局の科学・技術課より職員 4 名が、5 月 17 日から 23 日にかけて訪日しました。

本プログラムでは、「持続可能な地域開発に向けた科学・技術・イノベーション（STI）ガバナンスの強化および将来展望」をテーマに各種プログラムを実施しました。具体的には、経済・社会分野における講義、関係機関への視察、日本側専門家との意見交換を通じて、ASEAN における科学技術アジェンダの推進、STI 政策の企画・立案能力の向上、並びに STI 分野における国際協力の促進を目的とした能力強化を図りました。

本プログラムを通じて築かれる日本と ASEAN の実務レベルの協力関係と人的ネットワークが、将来にわたる STI 分野での協働を促進し、ASEAN 地域の持続可能な発展に寄与することが期待されます。

【AHEAD50】

AHEAD50（ASEAN Human Educational Development Scholarship Partners）は、2023 年の日本 ASEAN 友好協力 50 周年を契機に開始した招へい事業。ASEAN 事務局等の有望な職員に対し、日本の政策・制度・立場等につき学ぶ機会を提供し、人材育成を通じて ASEAN 事務局の強化を図るとともに、日本との円滑な協力を促進することを目的としている。

【参加者】ASEAN 事務局 科学・技術課（STD：Science and Technology Division）職員 4 名（課長級 1 名、上級職員 2 名、職員 1 名）

【訪問地】東京都、茨城県、兵庫県、京都府

【日程】

■ 招へいプログラム：

2026 年 5 月 17 日（日曜日）～2026 年 5 月 23 日（土曜日）6 泊 7 日

5 月 17 日（日曜日） 成田国際空港より入国

5 月 18 日（月曜日） 【意見交換】文部科学省 科学技術・学術政策局

【意見交換】科学技術振興機構（JST）

【意見交換】宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センター

5 月 19 日（火曜日） 【意見交換】STS forum (NPO): Science and Technology in Society forum

東京都から兵庫県へ移動

【意見交換・視察】理化学研究所 計算科学研究センター

5 月 20 日（水曜日） 【意見交換】京都大学 総合研究推進本部

【視察】三十三間堂

【視察】オムロンコミュニケーションプラザ

【講義・意見交換】立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科
「持続可能なイノベーションのための技術経営：日本の産業および宇宙エコシステムからの教訓」

講師：立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 研究科長
湊 宣明 教授

5月21日（木曜日） 【文化体験】茶道体験（弦庵）

【視察】銀閣寺

京都府から東京都へ移動

5月22日（金曜日）

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

5月23日（土曜日）

成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



5月18日【意見交換】
文部科学省 科学技術・学術政策局



5月18日【意見交換】
科学技術振興機構（JST）



5月18日【意見交換】宇宙航空研究開発機構
（JAXA）筑波宇宙センター



5月19日【意見交換】STS forum (NPO): Science
and Technology in Society forum



5月19日【意見交換・視察】
理化学研究所 計算科学研究センター



5月20日【意見交換】
京都大学 総合研究推進本部



5月20日【視察】
オムロンコミュニケーションプラザ



5月20日【講義・意見交換】立命館大学 大学院
テクノロジー・マネジメント研究科



5月21日【文化体験】茶道体験（弦庵）



5月21日【視察】銀閣寺



5月22日【報告会】



5月22日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

- AHEAD50 プログラムから得られた知見は、主として生産性の向上および業務規律の強化に貢献するものです。特に、「心から (Kokoro kara)」という価値観—誠実さ、主体性、そして細部への配慮—を取り入れることが重要な要素となります。これらの原則は、プログラム実施における計画立案や調整、さらには全体的な効率性の向上に活用することができます。さらに、日本の統合的なイノベーション・エコシステムに触れた経験を通じて、より強固な内部連携と戦略的整合性の重要性が再認識されました。これにより、ASEAN 事務局における科学・技術・イノベーション施策のより効果的な推進が可能となることが期待されます。
- 本プログラムで最も印象的だったのは、民間企業としては唯一訪問の機会があったオムロンコミュニケーションプラザへの訪問です。講義を通じて知識を得るだけでなく、自動化技術に直接触れる貴重な実践的体験も得ることができました。また、本プログラムで最も有益だった点は、パートナーとの関係をさらに強化できたことに加え、今後の協力の可能性について議論するための重要なプラットフォームとして機能したことです。
- 日本における科学・技術・イノベーション (STI) に関連する各機関の役割や、日本が優先して取り組んでいる研究課題について学ぶことで、ASEAN 諸国が提案するプロジェクトに付加価値を与えるために、これらの専門性をどのように活用できるかを検討することができました。これにより、特に ASEAN が依然として遅れをとっている分野—例えば、高性能計算 (HPC)、人工知能 (AI)、量子技術、宇宙技術、ならびに技術・イノベーションマネジメント—において、ASEAN と日本の間でさらなる協力が促進されることが期待されます。

4. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

		
【各訪問先における成果およびアクション・プラン】		
● 文部科学省		
<ol style="list-style-type: none">1. ASEAN 諸国 11 か国すべてが受益者となるよう、日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業 (NEXUS) で ASEAN 科学技術イノベーション基金 (ASTIF) をサポートする仕組みを検討することに合意しました。2. 2027 年 6 月に予定されている第 16 回 日 ASEAN 科学技術協力委員会 (AJCCST) で発表できるよう、上記の詳細について科学技術振興機構 (JST) と協議します。3. 2027 年の ASEAN 議長国であり日本担当国であるシンガポールの ASEAN 科学技術・イノベーション委員会 (COSTI) 実務者会議のテーマとして、AI、量子研究、高齢化対策技術について、日本とさらに議論を深めます。		
● 科学技術振興機構 (JST)		

1. e-ASIA 共同研究事業にブルネイ及び東ティモールを加えるための詳細を ASEAN 事務局に共有します。
 2. NEXUS で ASTIF をサポートする仕組みを検討します。
 3. 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) の対象に東ティモールを含めます。
- **宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 筑波宇宙センター**
1. 現在の日・ASEAN 統合基金 (JAIF) 支援プロジェクトの延長となる新たなプロジェクトのプロポーザルを作成し、ASEAN 事務局および JAIF 経営陣と共有し、協議することに合意しました。
 2. JAXA の衛星が生成するビッグデータを活用し、AI モデリングを用いて ASEAN の災害対策および気象予測の精度向上を図ることを提案しました。
- **STS forum**
1. 2026 年 10 月 4 日に開催される「STS フォーラム 2026」の開幕全体会議における ASEAN 事務総長による 6 分間の登壇枠について確認しました。登壇原稿は 2 週間前までに主催者へ提出する必要があります。
 2. シンガポールで「ASEAN STS フォーラム 2027」を開催し、同フォーラムを ASEAN・日本首脳会議のレベルまで引き上げることに合意しました。
 3. ASEAN 科学大臣会合において、ASEAN STS フォーラム設立 10 周年の成果を強調することに合意しました。
- **理化学研究所 計算科学研究センター (R-CCS)**
1. インドネシアに新設される ASEAN の高性能計算 (HPC) センターを活用し、ASEAN HPC スカールの継続的な展開について検討していきます。
 2. シンガポールの ASEAN 議長国期間中に、JAIF/NEXUS を活用した量子コンピューティングに関するプロジェクトを検討します。
 3. ASEAN 諸国の学生がインターンシッププログラムに参加できるよう支援する可能性について検討します。
 4. ASEAN による富岳へのアクセス再開の検討を依頼しました。
 5. ASEAN の研究者や学生による R-CCS の e ラーニングプラットフォームの利用促進を提案しました。
- **京都大学 総合研究推進本部**
1. 産学連携の強化および民間セクターとの連携の深化に取り組み、独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) 及び ASEAN 日本政府代表部との連携に尽力します。
 2. ASEAN 人材流動・技術管理ハブ (ASEAN Talent Mobility/Technology Management Hub) のプラットフォームを活用し、ASEAN・日本科学技術イノベーション (STI) 連携 (JASTIC) フェローの認知度向上を図ることを提案しました。
 3. 2026 年 10 月に ASEAN 事務総長の京都大学総長表敬訪問を提案しました。ASEAN と日本の学術的・戦略的協力をさらに強化します。
- **立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科**
- 以下の協力の可能性について検討しました。
1. 大学のインターンシッププログラムへの ASEAN 諸国の学生の参加 (JETRO の支援を受けたパイ

ロット事業)

2. ASEAN フォーサイト・アライアンス (AFA)
3. 「ASEAN 宇宙協力宣言」の採択に伴う宇宙科学技術分野
4. AJSTD (ASEAN 科学技術開発ジャーナル) を活用した研究成果の普及
5. 10月に予定されている ASEAN 事務総長の来日時に合わせた大学での特別講演

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)